

配偶者のうつへの初期対応に関するアンケート調査 参加者募集のご案内

この調査の目的は、うつ病の症状を経験し始めた人に向けて、配偶者が行う対応について検討することです。

- 募集対象：
 - うつ病の症状を経験した方の配偶者の方
 - うつ病の症状を経験している方への支援経験を持つ専門職
- 調査方法：Web アンケート調査
- 実施時期：2022年8～9月頃

【皆様の意見を集約するために、調査は合計3回実施します】

実施期間中に、メールにて各回の回答フォームを送付いたします。

また、各回の回答結果について、回答者の匿名性を保った形で皆様にフィードバックします。

- 所要時間：第1回調査では30分程度、第2～3回調査では15～20分程度
- 謝礼：Amazonギフトカード500円分
*3回の調査全てにご回答いただいた方にのみ送付いたします。

このご案内では、**専門職**の方を募集いたします。下記の①～③すべてに該当し、調査参加をご希望の方は、以下のリンクまたはQRコードより、お申し込みください。
*下記に該当する研究者の方も、ご参加が可能です。

- ① 現時点で、臨床心理士または公認心理師資格（いずれかまたは両方）を有する
- ② 有資格かつ有償の専門職として、2年以上の実務経験を有する
- ③ ②の実務経験の中で、うつ病、または抑うつ状態を示す成人（18歳以上）への支援経験を有する

お申し込みフォーム：

<https://forms.gle/9bo1w6sn2B6uBRTL7>



お問い合わせ先

研究従事者：赤司 萌（あかし もえ）

東京大学大学院 教育学研究科 臨床心理学コース修士課程 2年

Email：moeakashi26@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

研究責任者：高橋美保（東京大学大学院 教育学研究科 臨床心理学コース教授）